

## 2008年8月の東北地方の天候

### 【8月の特徴】

- 上旬の少雨、中旬・下旬の多雨
- 中旬・下旬の低温

#### (1) 2008年8月の概況

この期間、月の前半は高気圧におおわれて晴れて暑い日が多かったが、一時大気の状態が不安定となって局地的に大雨が発生した。月の後半は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、また上層に寒気が入り大気の状態が不安定となって雷を伴う局地的な大雨がたびたび発生し、東北地方は各地で浸水害や土砂災害、停電や交通障害等が発生した。また、中旬後半から下旬前半には日本付近に寒気が南下し、顕著な低温となった。8月5日ころには東北北部が、8月6日ころには東北南部が梅雨明けしたと見られる。

月平均気温は東北地方で低い。月降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は東北地方で少ない。

#### (2) 各旬の天候経過

**上旬**：期間の前半は気圧の谷や東北地方をゆっくり南下した前線の影響で曇りや雨の日もあったが、期間の後半は高気圧におおわれておおむね晴れた。5日には、上空の寒気や前線の影響により大気の状態が不安定となり、白河で1時間に60.0mm、日降水量で105.5mmの大雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

**中旬**：期間のはじめは高気圧におおわれておおむね晴れたが、東北太平洋側では湿った東よりの風の影響で曇りの日もあった。期間の中ごろからは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となったところもあった。山形県や福島県では浸水害などが発生した。また、寒気の影響で気温が低くなかった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で少ない。

**下旬**：低気圧や前線、湿った東よりの風の影響により、曇りや雨の日が多かった。大気の状態が不安定となって雷を伴う大雨となったところもあり、各地で浸水害や土砂災害、停電や交通障害等が発生した。また、オホーツク海高気圧や寒気の影響で期間の前半は気温はかなり低くなかった。

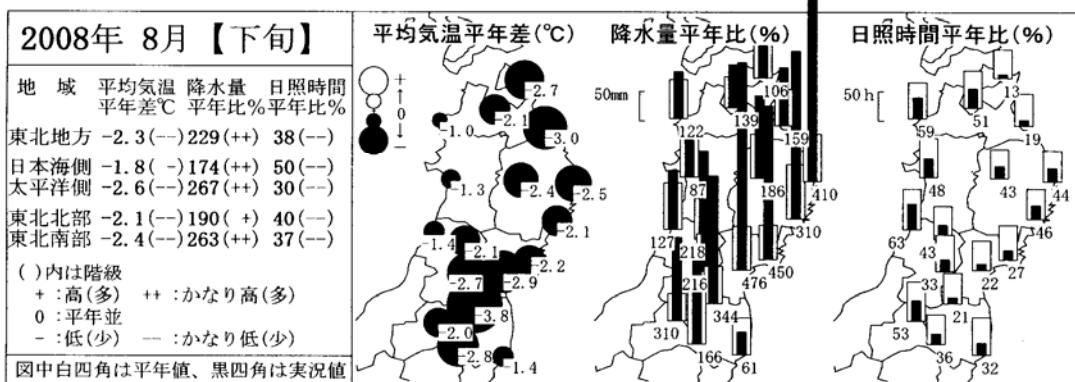
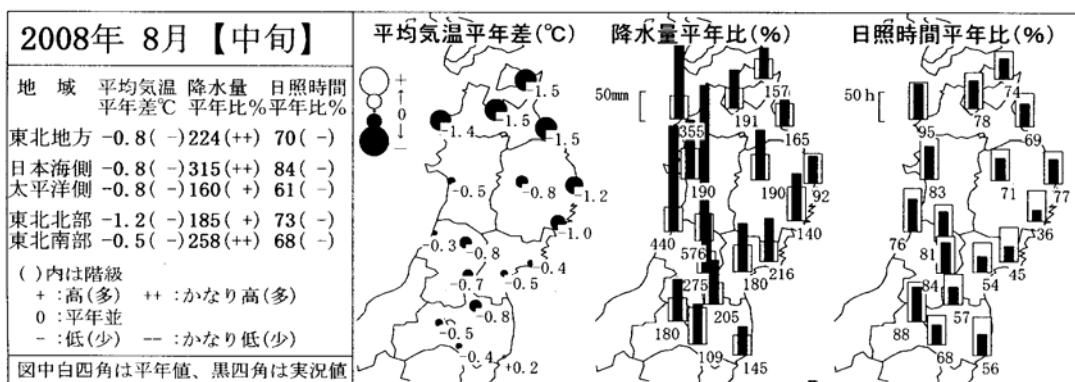
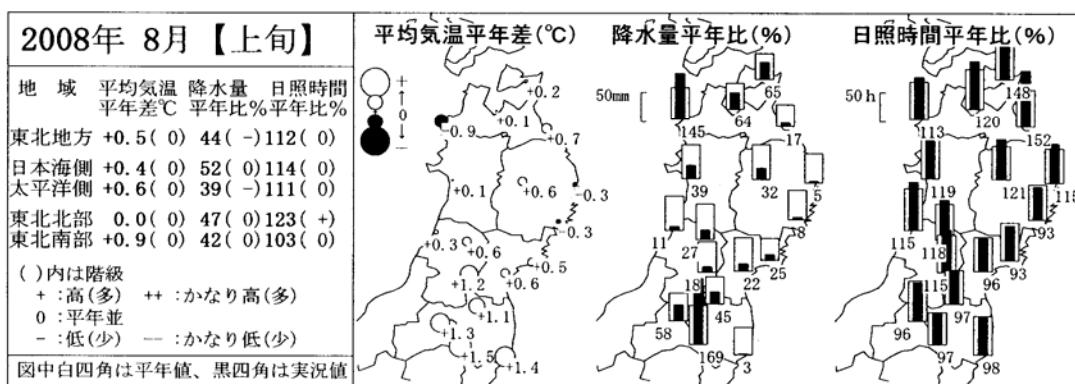
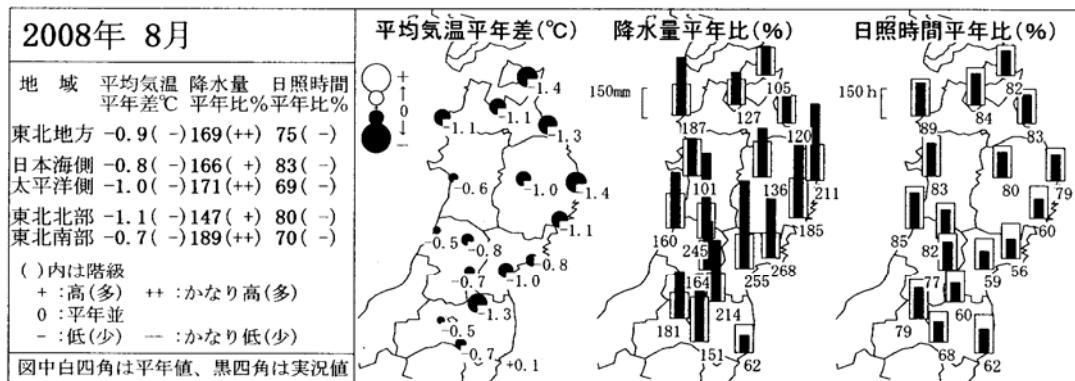
平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2008年8月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2008年8月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	21.9	( -1.1)	—	164.5	(127)	+	14	160.3	( 84)	—
深 浦	22.0	( -1.1)	—	294.0	(187)	+*	11	166.1	( 89)	—
む つ	20.3	( -1.4)	—	147.5	(105)	○	15	125.8	( 82)	—
八 戸	21.0	( -1.3)	—	167.5	(120)	+	16	144.1	( 83)	—
秋 田	23.9	( -0.6)	—	184.0	(101)	+	12	165.8	( 83)	—
盛 岡	22.2	( -1.0)	—	242.5	(136)	+	12	127.3	( 80)	—
大 船 渡	21.9	( -1.1)	—	367.0	(185)	+	15	96.7	( 60)	—*
宮 古	20.8	( -1.4)	—	381.5	(211)	+*	13	131.2	( 79)	—
仙 台	23.1	( -1.0)	—	444.0	(255)	+*	14	92.0	( 59)	—*
石 卷	22.8	( -0.7)	—	340.0	(268)	+*	14	99.6	( 56)	—*
山 形	23.9	( -0.7)	—	244.0	(164)	+	14	143.1	( 77)	—
新 庄	23.1	( -0.8)	—	427.0	(245)	+*	14	144.7	( 82)	—
酒 田	24.4	( -0.5)	○	282.0	(160)	+	15	180.2	( 85)	—
福 島	23.9	( -1.3)	—	309.5	(214)	+*	17	95.8	( 60)	—*
若 松	24.3	( -0.5)	—	237.0	(181)	+	14	158.0	( 79)	—
白 河	22.6	( -0.7)	—	345.5	(151)	+	19	104.7	( 68)	—
小 名 浜	24.0	( +0.1)	○	88.0	( 62)	○	12	120.7	( 62)	—*

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には

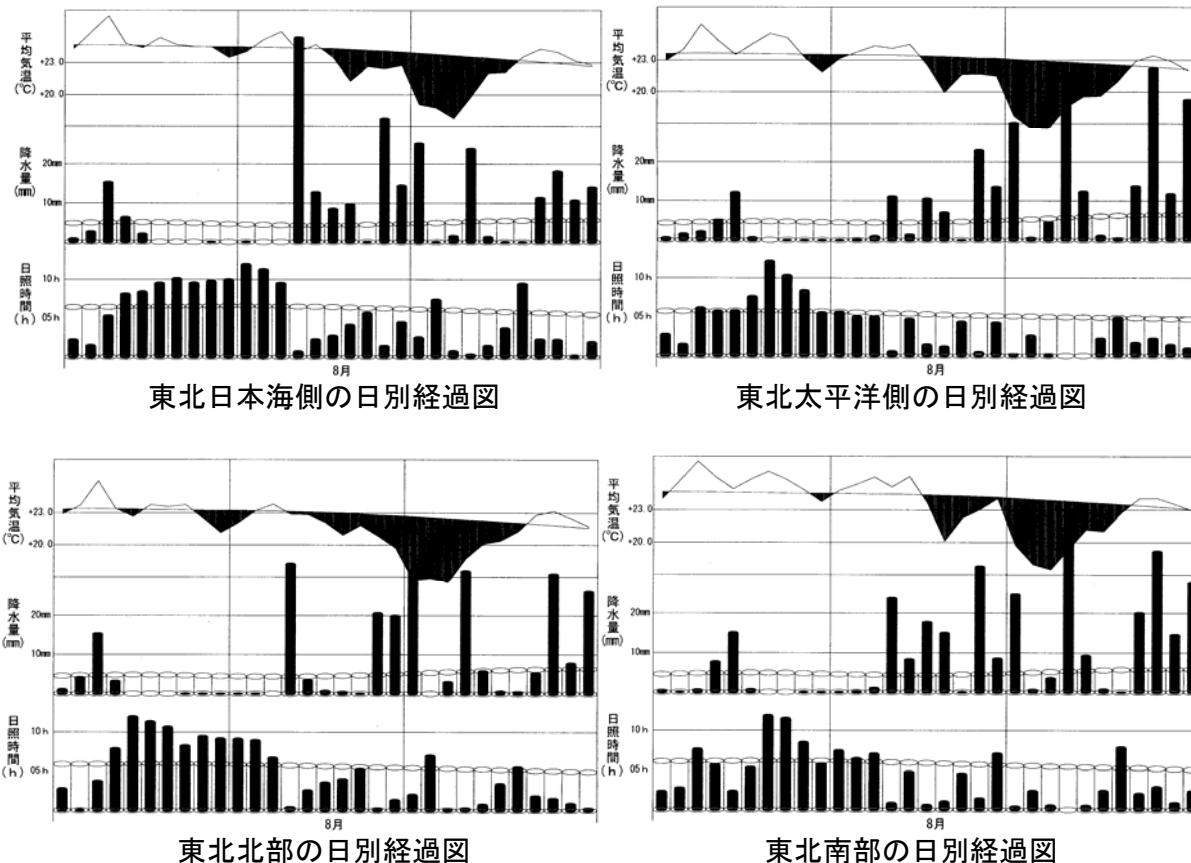
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## (5) 2008年8月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

## (6) 2008年8月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	新庄	427.0	245	472.5 (1998)	1958	174.5
	仙台	444.0	255	456.7 (1950)	1927	174.2

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新  
3位以内はなし

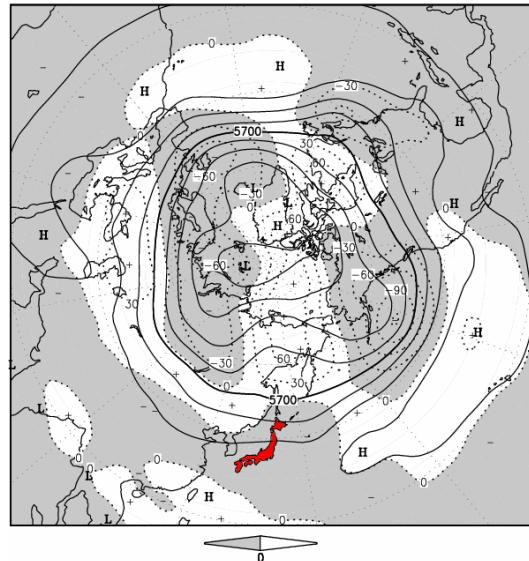
月間日照時間少ない方からの順位更新  
3位以内はなし

(注) 平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

#### (7) 2008年8月の循環場の特徴

500hPa高度では、東シベリア付近にブロッキング高気圧があり、オホーツク海付近も正偏差となった。一方、日本付近は負偏差となった。日本の東海上には気圧の谷があり、北日本に上空の寒気が入りやすかったことに対応している。

東北地方は寒気や気圧の谷の影響を受け、低温となる時期があった。また、月の後半は前線や上空の寒気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなり、大雨となったところもあった。



2008年8月の平均500hPa高度

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎  
陰影部は負偏差（寒気に対応）